

## <青年海外協力隊としてルワンダへ！>

熊あゆみ レポート1

Muraho.(こんにちは。)

富士見市協働推進課職員、熊あゆみと申します。

このたび私は、2018年10月15日から2年間、国際協力機構（JICA）青年海外協力隊の野菜栽培隊員として、アフリカのルワンダへ派遣されました。ルワンダの南部にあるフイエという郡の郡庁に所属します。これから少しでもルワンダのことを知っていただけるよう、現地での出来事を皆さまにお伝えしていきたいと思います。

### ～ルワンダってどんな国？～

さっそくですが、皆さんはアフリカやルワンダというところのような印象を持ちますか。

ルワンダは、赤道から南へ2度に位置する内陸国ですが、標高が高く気温は13度から30度ととても過ごしやすいです。面積は四国の1.5倍ほど。1994年には、約100日で100万人近くの命が奪われたジェノサイドの歴史を持つ国でもあります。

そこから20年あまり、「アフリカの奇跡」と呼ばれるほど、現在はアフリカの中で一番治安のいい国と言われ、ICT立国も目指している国です。

国民性は穏やかで、シャイな人も多いと聞きます。誰かが困っていると周りのみんなも静かにそばで話を聞いていて、必要に応じてアドバイスをしている光景を実際に目にしたこともあります。日本人と似ていると感じる人もいるかもしれません。

そんなルワンダについて、まず始めに、気になる日常をお伝えしていきたいと思います。今回は「朝」編です。

### ～ルワンダの朝は早い～

私は、配属前の訓練として、首都キガリでホームステイをしながら、公用語のひとつである「キニヤルワンダ語」を学びました。

平日のスケジュールはだいたいこのような形です。

- 5時すぎ 起床
- 6時 出発、歩いてバスターミナルへ
- 8時 語学訓練
- 12時 お昼休憩
- 13時 語学訓練再開
- 15時 語学訓練終了
- 買い物やJICAルワンダ事務所で調べ物

18時 帰宅、お風呂  
21時 夜ご飯  
21時30分から22時 就寝

訓練先へは車であれば30分ほど。私たちは路線バスを使うのですが、乗り継ぎに時間がかかるため家を出るのは2時間前の6時です。

ウムコジ（キニヤルワンダ語でお手伝い）さんが5時半頃に起きて準備を始めると、12歳の男の子も起きてお風呂に入ります。他の家族も次々とお風呂や朝ご飯の時間。

というのも、ルワンダでは、仕事や学校が7時頃から始まる場所があるのです。また、朝風呂派の人も多いようでとても早起き。私の配属先の定時も7時からのため、この生活に前もってたっぷり浸かることができました。

20分ほど歩いて停留所へ向かうと、その途中にはすでに通勤や通学の人がたくさん。そして、混雑する朝の大きな交差点、なぜか点滅黄色信号のところがあります。バイクタクシーもバスも車も、隙間をかいくぐって進みます。

大きなバスターミナルで乗り換えるときは、人が行列になることもあります。日本もルワンダも通勤ラッシュは同じようです。

午前中の語学訓練は朝8時からお昼までの4時間です。

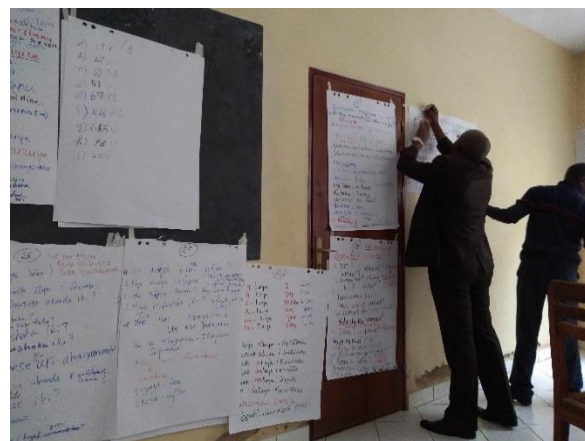
16日間で学ぶ教科書は100ページ以上！

休憩時間の気分転換が大切です。

(写真)



語学訓練先の近くにある商店（アリメンテーション）で買えるおやつ。同期みんなよく通いました。ワッフル、ビスケット各100ルワンダフラン（約12円）。



語学訓練のようす。日々新しいことを勉強。